

演劇を 書く レビュー

どらま館ワークショップ

演劇を見て「レビューを書く」という場合、その多くは、誰かに見せるために書きます。けれども、この講座では、その一歩手前に踏みとどまりたい、つまり、自分の感想を言葉にするために、レビューを書きたいと考えています。ふわふわとした自分の感想に、少しずつ言葉を当てはめていくことによって、思わぬつながりや、作者も気づかなかった意図、そして、何よりもレビューの書き手自身が見えてきます。評価をするためではなく、自分の見方に気づくために、演劇をより豊かに見るための第一歩として、レビューを書いてほしいと思います。（萩原雄太）

【対象公演】『ひとり多ずもう』 6/7-10 @早稲田小劇場どらま館

※公演の観劇をWS参加の条件とします。日時の指定はありませんので、ご自身でチケットを予約して観劇ください⇒



講師

萩原雄太

83年生まれ。07年よりかもめマシンを設立し、東京都を中心に活動。個人の身体と社会との関わりに焦点を当て、11年には、福島第一原発事故の避難区域から数百メートルの場所で『福島でゴドーを待ちながら』を上演。日本国憲法を扱った『俺が代』は、17年ルーマニア国際演劇祭 Temps d'Images Festival に日本の劇団として初めて招聘される。第13回AAF戯曲賞、利賀演劇人シークール2016優秀賞受賞。2018年、シアターコモンズ'18、TheatreTreffen International Forum（ベルリン）参加。

対象

早稲田大学在学学生、早稲田の演劇サークル所属学生

※今回の催しは一般の方の募集はしていません。ご了承ください。

定員

10名程度 ※6/10と6/24の両日参加できる方を優先しますが、定員次第で1日だけの参加も受付ます。

参加費

全2回 600円 ※別途チケット代を参加者負担です。

会場

2日とも早稲田大学周辺 ※参加者にご連絡します。

第一回

6/10(月)

19:00～21:00

レビュー講座

(→受講後1週間を目処にレビュー提出)

第二回

6/24(月)

19:00～21:00

講評会

予約フォーム



- ① 学部・学年
 - ② 所属サークル名
 - ③ 予約した観劇日時
- を、予約フォーム備考欄に記入してください。

早稲田小劇場
どらま館
DRAMA-KAN

【お問合せ】早稲田小劇場どらま館
Twitter: @waseda_dramakan